

市勢振興功労者(元カトリック遠野教会主任司祭)

マックス・エンデルレさん 母国スイスで永眠



元カトリック遠野教会主任司祭で、市勢振興功労者のマックス・エンデルレ神父が3月11日、母国のスイスで亡くなりました。90歳でした。3月22日には、カトリック遠野協会で追悼ミサが執り行われ、市内の多くの友人

や知人らが冥福を祈りました。

マックスさんは、昭和39年4月に光の園幼稚園の園長に就任して以来、38年にわたり幼児教育の充実に尽力。母国スイスへの農業実習生派遣の橋渡し役を務めるなど、農業振興や国際交流にも貢献しました。平成3年11月には、外国人で初めて市勢振興功労者表彰を受賞。東日本大震災では、避難所開設など被災地支援活動も展開しました。

平成24年6月、高齢を理由に半世紀の間過ごした遠野を後にし、母国スイスに帰国していました。



マックスさんを偲ぶ追悼ミサには、市内の知人や友人がたくさん駆け付けました

3月16日 あえりあ遠野で「企業の森林協定」締結式

連携の力で市有林を有効活用

市とNPO法人遠野森人倶楽部(佐々木俊悦理事長)は「企業の森林協定」を締結し、約2千㌔ある市有林の有効活用に乗り出しました。協定の内容は、木材の有効活用を視



固い握手を交わす本田市長と佐々木理事長

野に、同法人が市から提供された森林で間伐や植栽などの整備を行うもの。荒廃が懸念されている人工林の、新たな手入れの仕組みとして注目されています。

3月19日 遠野ケア・イノベーション会議2017

介護の魅力を発信！

「明るい未来 明るく介護 介護の未来に種をまこう」をテーマに、市民センター大ホールで同イベントを開催。市内外から200人が参加し、北海道介護福祉道場あかい花



楽しさを奪わない介護を訴える雅洋氏

の菊地雅洋代表の講演に関心を寄せました。講演後、市内8事業所が取り組んだ事例が紹介され、介護に対する思いを新たにしていました。

3月5日 ばすぼるヘルスアップライブ

笑う門には健康来る

市総合食育センター「ばすぼる」は、あえりあ遠野で食と健康に関するイベントを開催。食生活改善推進員らによる脳卒中予防劇や、神戸市出身のシンガーソングライター・



リピート山中さんライブに笑い声が響きました

リピート山中さんによるライブなどが行われました。山中さんは、「笑いは体と心を健康にする」とユーモアたっぷりに呼びかけました。

3月5日 町家で楽しむ女子神楽

女子の節句に、艶やかに舞う

遠野文化研究センターと同実行委員会が主催した「町家で楽しむ女子神楽」が一日市商店街の旧三田屋で行われました。昔ながらの町家を舞台に、鱒沢・平倉・飯豊神楽の3



3月に高校を卒業したみなさんも出演

団体から11人の舞い手が出演し、三番叟や普勝舞など6演目を披露。市内外から訪れた150人の観客は、ひな祭りにふさわしい華やかな舞に酔いしれました。

2月28日 ふれあいホーム薬研淵でお祝い会

綾織町の山田豊次さん100歳

山田さんの100歳を祝う会は、ふれあいホーム薬研淵で開かれました。花束や記念品が手渡されると、山田さんは「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。山田



感謝の言葉を述べる山田さん

さんは横浜市出身で、戦争を機に江刺市へ疎開。妻・シマ子さん(故人)と結婚し、警察官や教師として活躍しました。現在は、自宅で元気に過ごしています。

2月28日 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

トップアスリートと交流を深める

市は、同大会の魅力を伝えるためフラッグツアーを誘致。遠野東中学校を会場に、フラッグ受け渡しセレモニーなどが開催されたほか、アトランタ五輪女子バスケット



東京五輪開催に期待が高まります！

ボールに出場した萩原美樹子さんの講演とボールを使ったゲームが行われました。生徒は3年後の東京五輪開催に期待を膨らませました。

3月11・20日 市健康づくり総合大学「とすぼ」が2つのイベント開催

子どもから大人まで楽しく元気に

市健康づくり総合大学「とすぼ」のイベントは、3月11・20の2日間行われました。子どもから大人まで計300人が参加し、講座や体験教室などを通じて健康づくりに理解を深めました。

11日は市民体育館で大学祭が開かれ、

↓タニタ流の健康づくりを伝授する阿部さん



元プロ選手で楽天イーグルス・ジュニアチームの広橋公寿コーチらによる野球教室や水泳教室、体操教室などを実施。参加者は楽しみながら体を動かしました。20日は青笹地区センターで「タニタの健康セミナー」を開催。タニタヘルスリンクの管理栄養士・阿部千里さんが、健康的な食事と運動の基本について講演。阿部さんが、今話題の「タニタ食堂」などで実践している健康づくりのコツを解説すると、参加者は熱心に聞き入っていました。



上/野球教室 左/水泳教室 右/健康教室

3月11日 僧侶の江本英卓さんが追悼ラン

釜石一盛岡間・120㌔を力走

善明寺(大工町)の僧侶・江本英卓さん(34歳)は震災6年を迎えた同日、灯火を携えて釜石一盛岡間の約120㌔を走りました。市内では、遠野町婦人団体協議会のメンバーら



沿道の声援を背に力走する江本さん

が朝食を振る舞い江本さんを激励。江本さんは約12時間かけて走り切り、盛岡市内丸の「祈りの灯火」会場に釜石の灯火を届けました。

3月4日 岩手の三賢人の功績～伊能嘉矩の業績を中心に～

伊能嘉矩の功績を学ぶ

明治時代に台湾で活躍した本市出身の人類学者・伊能嘉矩についての講演が、市立図書館で開催されました。伊能に関する著書がある国久義雄氏(本市出身)を講師に招き、



伊能嘉矩について理解を深める参加者

台湾の先住民研究に尽力した伊能の功績を解説。本県出身の後藤新平、新渡戸稲造の業績にも触れ、参加者は熱心に耳を傾けていました。